

## GeoHazards International が沿岸被災地を視察し、当センターを訪問しました (2012/1/25)

1月25日(水)、GeoHazards International 会長の Brian E. Tucker 氏が、2011年東北地方太平洋沖地震の沿岸被災地の視察を行いました。当センターのアナワット研究員とエリック博士課程生、ムハリ博士課程生が、岩沼市、名取市の仙台空港・閑上地区、仙台市の荒浜地区・仙台港・浪分神社の順で各被災地を案内しました。その後、Tucker 氏は当センターを訪問し、今村教授と東日本大震災の被害に関するディスカッションを行いました。GeoHazards International では、津波発生リスクが高いインドネシア国パダン市で、津波エスケープヒル(津波から避難するための丘)を作る予定とのことで、仙台港中央公園や仙台市若林区の海岸冒険広場、岩沼市の岩沼海浜緑地、同市の千年希望の丘の構想などについて、特に関心が高いようでした。



沿岸被災地の案内(岩沼市二野倉地区)



今村教授(左)と Tucker 氏